

9月の野菜の見通し

令和2年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,109	平年並 み	11,356	87	126%	109	0	0.0%	北海道、青森県産は高温のため品質が低下し、数量が少ない。消費地の気温がまだ高く需要も低いため、大きな山谷なく推移する。単価は前年の2割程度高いが平年並み。
はくさい	10,177	やや少 ない→ 平年並 み	10,655	101	104%	108	2	0.0%	入荷は長野県産中心。上旬までは7月の長雨の影響で数量は多くない。中旬以降は次の作型が出荷され潤沢に入荷する。単価は前年比をわずかに上回るが平年並み。
キャベツ	16,788	やや少 ない→ 平年並 み	16,708	93	140%	100	0	0.0%	入荷は群馬県産中心。干ばつのため小玉傾向で、数量は平年をやや下回る。9月はこれまでの高値の反動で相場は下げ基調。単価は前年・平年を大幅に上回る。
ねぎ	4,306	平年並 み	4,500	325	108%	367	333	7.7%	9月上中旬までは北海道、東北産が出荷ピークのため数量は充分だが、下旬から稲刈り作業が始まり数量は落ち着く。全体数量は平年並み、単価はやや安かった前年以上だが平年並み。
きゅうり	7,946	平年並 み	7,391	309	107%	335	343	4.3%	7月の長雨、8月の高温から、東北産露地栽培は樹勢が弱く数量は少なめ。中旬には関東産抑制作型が増量し、相場は弱含み。単価はやや安かった前年以上だが平年並み。

9月の野菜の見通し

令和2年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
なす	2,994	平年並 み	3,015	388	105%	396	8	0.3%	入荷は栃木県、群馬県、茨城県産中心。8月は相場下落が続いたが、9月には価格がこなれて荷動きが出る。下旬には高知県産が増量することで相場は弱含み。全体数量は平年並み、単価は前年・平年をわずかに上回る。
トマト	6,321	平年並 み	7,052	463	86%	434	98	1.5%	千葉県、栃木県産の抑制作型が増加するが、千葉県産は前年の台風被害があり平年より少ない。東北産がピークを過ぎて減少するため、相場は堅調な展開。単価は前年を1割以上下回り、平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)